

地域資源の活用を考える

和歌山県田辺市上秋津地区
秋津野地域づくり協議会



地域概要

秋津野地域づくり協議会

和歌山県田辺市 和歌山県南部の経済の中心地

JR新大阪駅から特急で2時間30分(紀伊田辺駅)

中国吹田JCから2時間20分(南紀田辺IC)

上秋津は、田辺市の中心市街地から車で約15分中山間地

田辺市は世界遺産熊野古道の入り口の街



祝 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」追加登録



秋津野から車で

- ◇南紀白浜温泉まで20分
- ◇熊野本宮大社まで60分
- ◇新宮速玉大社まで90分
- ◇潮岬まで60分
- ◇那智・勝浦温泉まで90分
- ◇高野山まで150分

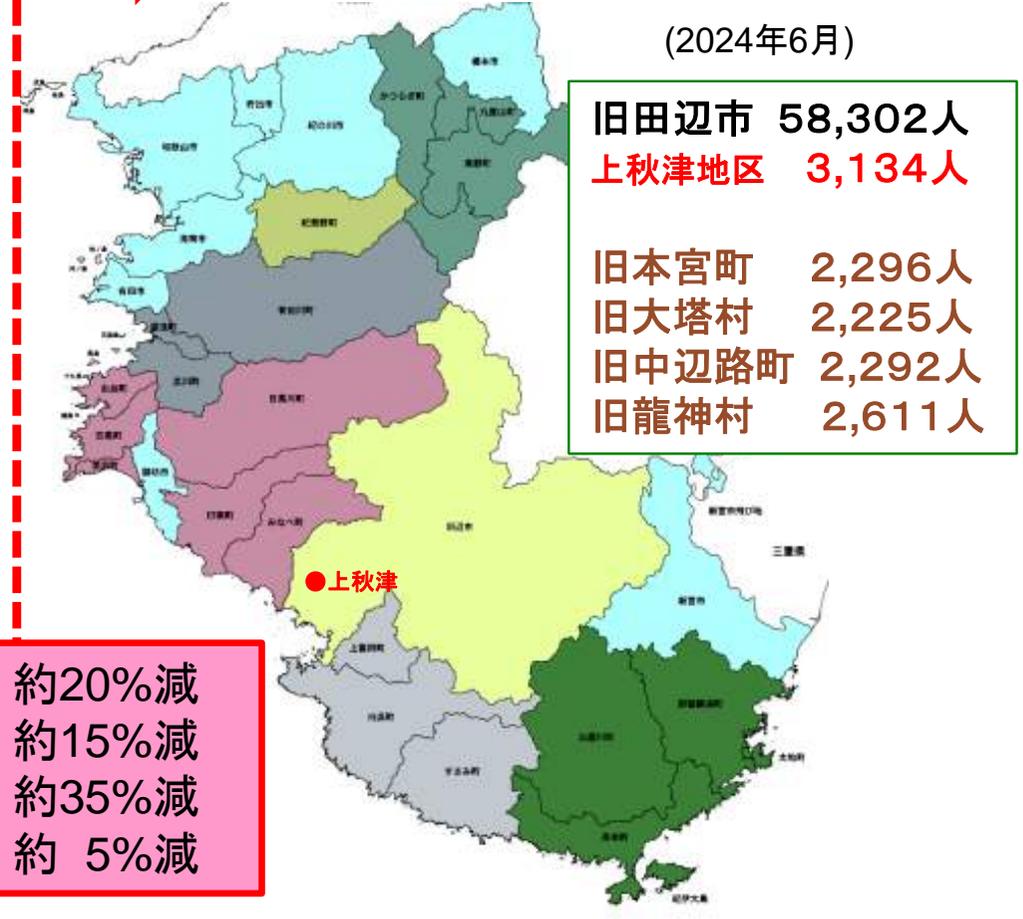
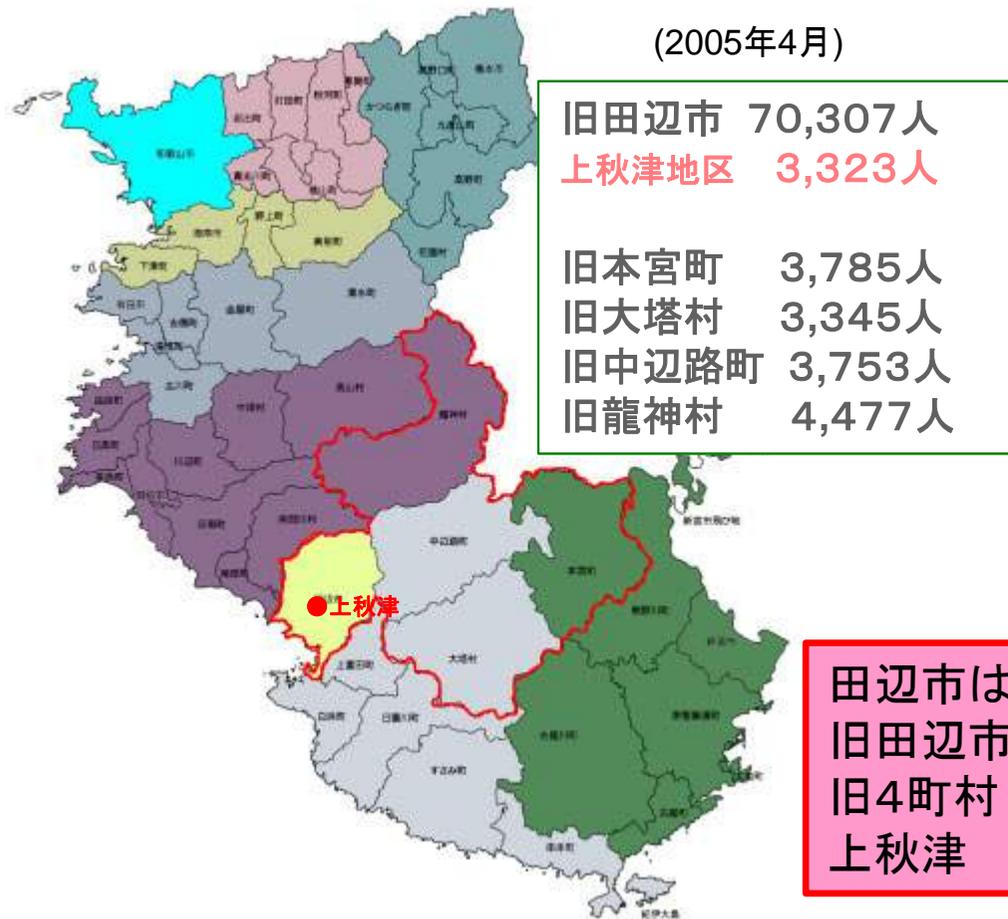
田辺市は毎日3人の人口減少が続く

人口減少時代でも、地域で豊かに暮らしていける術を持つ必要がある

合併当時の田辺市の人口85,667人

▲17,941

現在の田辺市の人口 67,726人



上秋津は多様な考えの住民が暮らす農村に

1955年 540戸 2700人

2023年1283戸(約25%が農家) 3144人が暮らす地域

- 上秋津地域は中山間地の農村なのに人口が増えた地域(現在も増えている)
- 平成の初めには急激な人口増で新旧住民間にトラブルも見られ、地域づくり協議会『秋津野塾』を組織、地域づくりやコミュニティづくりを進めて来た
- 住民が株主の直売所や都市と農村の交流施設などを運営している



秋津野直売所『きてら』

住民出資のコミュニティビジネス



都市と農村の交流施設
秋津野ガルテン

住民主体の地域づくりが続いている



現在でも移り住んでくる方が多い上秋津地域

地域独自のマスタープランで未来を目指す

今、地域を知らないと、前に進めない

和歌山大学との初めての連携

- ガムシャラに走り続けてきた地域づくりへの不安と賛否
- 地域の新たな課題や問題も見えだしてきた
- 経済のグローバル化や自由化による、農業への不安



- ① 地域社会の構造と意志決定システム
- ② 土地管理の現状と今後の土地利用
- ③ 地域農業の活性化と地域資源の活用

マスタープラン

(1) 地域社会の構造と意志決定システムに関する調査

- ① 住民の意思決定などのあり方についてのアンケート(約2000名)
- ② 地域高齢者生活調査アンケート、③ 学校、家庭生活調査アンケート(小学5、6年生・中学生全員)
- ④ 公民館活動についてのアンケート(公民館利用者)

(2) 上秋津地域の農業の基本方向と活性化策に関する調査

- ① 農業経営者対象、② 青年農業者対象、③ 農家女性対象
- ④ 地域外住民対象(上秋津の農業についてのアンケート)

(3) 上秋津地区の環境とくらしに関するアンケート(全世帯)

平成13年度からは、アンケートに基づくヒアリングを各地域、各組織で実施。
ヒアリングの参加者は延べにして約300人にのぼる。



協議会概要

秋津野地域づくり協議会

秋津野地域づくり協議会立ち上げの経緯

- 当初の地域づくりは地域内組織を網羅した協議会『秋津野塾』が主体
- 平成8年ごろからは、地域課題には経済をも考えた取組が必要が出て来た。これまでの地域の活動主体の協議会組織では限界
- 平成11年以降、住民出資のコミュニティビジネスを次々に立ち上げ、地域づくりに経済を絡ませながら、地域の活性化を目指している
- 令和元年には、廃園を復活させた園地で梅栽培を目指す法人も立ち上げ、農機レンタル事業や廃園復活のための取組等を行っている。

- 農村RMOは、これまでの地域づくりの経験を生かすことができる
- 地域は活性化してきたが新たな課題も見え始めている
- 地域づくりとコミュニティビジネスの両輪で進められる可能性もある
- 地域づくりのための、窓口や事務局としての機能も持ち合わせている

秋津野地域づくり協議会

1999年

<https://kiteraga.com/>

CB

株式会社きてら

直売所事業

俺ん家ジュース事業
加工・農業体験事業

<https://aigoukai.akizuno.net/>

1957年

(公益)上秋津愛郷会

所有する財産(森林資源)から得られた収益で地域づくりを支援。発足当時は一般社団法人であった。

2007年

<https://agarten.jp/>

CB

株式会社秋津野

都市農村交流

農家レストラン、宿泊施設、オーナー制度、ICTグリーンオフィス、ワーホリ受け入れ窓口
スマート農業実証、農村RMOの研究

<https://shinfurusato.jp/>

2014年

(一社)ふるさと未来への挑戦

地域づくり中間支援組織

太陽光発電、水力発電による売電
得られた収益でコミュニティビジネスを支援

連携

2019年

<https://akizuno.jp/>

CB

株式会社秋津野ゆい

南高梅の生産販売

農機レンタル、スマート農業推進
廃園復活、他

<https://akizuno.net/>

1994年

秋津野塾

コミュニティづくり協議会

地域にある組織団体を網羅した地域づくり協議会で平成8年に天皇杯。

未登記

秋津野塾組織

本部執行部

(塾長は町内会長があたる)

上秋津町内会(11地区支部)

上秋津公民館

(社)上秋津愛郷会

土木委員会

上秋津消防団

上秋津自主防災会

女性の会

民生委員会

福祉委員会

地元選出 市会議員

JA紀南上秋津支所

上秋津支所青年部

上秋津支所女性の会

上秋津支所
生産販売委員会

農業委員会

上秋津幼稚園

幼稚園PTA

上秋津小学校

小学校育友会

上秋津中学校

中学校PTA

子供クラブ

田辺市緑の少年団

(株)きてら

(株)秋津野

(一社)ふるさと
未来への挑戦

(老)あきつの

牟婁商工会

(社)上秋津愛郷会(あいごうかい)設立

昭和の6村合併を機に地域に残された財産の管理運営の社団法人を発足
財産運営をし得られた収益は地域で3つの目的(公益)だけに使う!

愛郷会は昭和の時代のRMOだったかもしれません



教育振興

住民福祉

治山緑化

(環境保全)

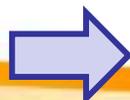
地域の未来を見つめた村の選択

愛郷会の運営から得られる収益は、大きな地域づくりの原資
 行政だけに頼ることのない『自主財源の確保』ができ、独自の地域づくりへと

全国のモデルに

1957年、和歌山県下に於いて、はじめて社団法人を設立し、旧上秋津村有財産全てを地域住民に復帰し、さらに、社団法人に
 所有権を移転し社団法人による運用が開始し、**全国に於いても初めての財産区の解消**という画期的な仕事を実現、社団法人と
 して運営に努力を重ね、今日にいたっている。

社団法人上秋津愛郷会(昭和32年)



公益社団法人上秋津愛郷会(平成24年)

上秋津で地域資源活用に取り組んできたこと

直売所の立上げから都市農村交流施設秋津野ガルテンの立ち上げ
そしてその後

秋津野地域づくり協議会

転機

住民の出資で常設の直売所を開設



これまでの地域づくり活動での**住民の成長**が**出資**につながった行政や農協からは応援は得られなかったが、みんなで直売所を！

地域づくりの有志31名が一人10万円を持ち寄る

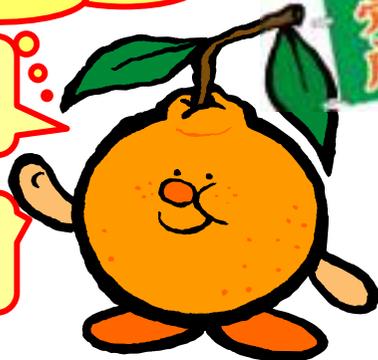


10坪の中古のプレハブ倉庫に夢を託す

秋津野でも！

直売所の時代は必ずやってくる。

全国に地産地消の風は吹いている



直売所の目的
(理念)
地域づくり

農家に農産物価格の決定権を > **農家にやる気を**
お年寄りの生きがいの場の提供 > **寝たきり老人をつくらない**
新たな地場産品を発掘 > **みかん・梅以外の地域産品を経済に変える**

地域の住民なら誰でも15%の販売手数料を支払えば出荷出来る

新築移転が本格的な時代

直売所立地のセオリーに反するが、農業や季節感を感じられる景観がある



お年寄りが毎日
出荷出来る距離に



移転目的

売り場面積の拡大で商品を増や地域の農産物もつと届けたい
買い物の環境の整備(駐車場・トイレの確保)と農産物加工施設の設置

それでも
売場面積20坪



再投資

新たに55名(内23名は地域外応援団)の出資者+県の補助金+借り入れ

みかん農家の最大のモッタイナイを地域の宝に



収穫したミカンの10%~20%は市場に出荷出来ない



これまでは選果場で集荷され、大規模なジュース工場へ**加工原料**として出荷されていた。

加工原料仕向けミカンが売れて喜ぶ農家はいない

出荷経費を引けば農家には**1キロあたり3円~5円**



モッタイナイが
何十年も続いていた

農家は、選果場にミカン
を捨てに行く感覚であった



地域外にある大手ジュース工場



愛飲運動として一部は農家が引き取る

資金調達もこれまでと同じ出资方式で行う

- 直売所の新築オープンで『きてら』にお金がない
- ジュース事業の失敗が直売所閉鎖の可能性を危惧
- 金融機関のコミュニティービジネスへの理解不足で簡単に借り入れができない

『きてら』とは別に新たな組織の立ち上げを決定→俺ん家ジュース倶楽部



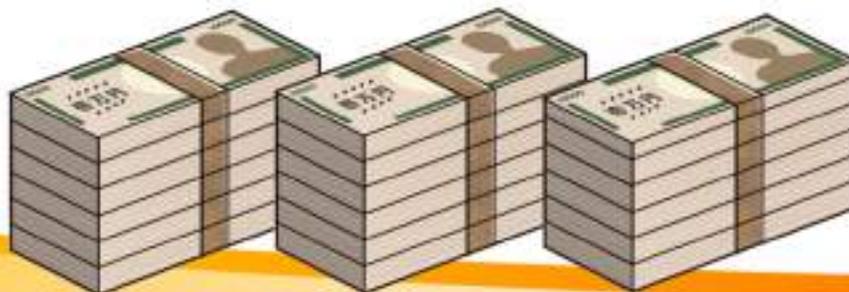
地域へ出資要請(農商工地連携)を行い資金集め

農家、地域づくり同志、食品加工販売会社、機械製造販売会社、建築業、土壌改良材製造販売会社

31人(農家21名、+10名)が¥500,000を持ち寄って



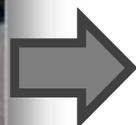
金融機関からの200万円の借り入れ(役員が保証人)



¥17,500,000

農家にも地域にも大きな経済効果

農家は捨てていたイメージのある加工用ミカンが地域の宝に変わった

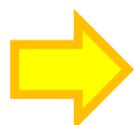


選果場に出荷すれば地域には約**150,000円**だけの経済

農家にはキロ単価3~5円(当時)

(例)

50t 出荷



インライン方式の搾汁機器を使用して、外皮の油分が入らない、



自分たち加工販売すれば地域には約**15,000,000円**以上の経済と雇用が生まれる

農家にはキロ単価60円~

6次産業化(農商工連携)は販売という壁をうまく乗り越えれば大きな経済効果が

直売所で年間を通じて販売できるアイテムとなる
地元のミカンを使ったジュースとして、美味しさと同時に安心・安全を伝えられる
ミカンの生果の販売とジュース販売で相乗効果が得られる
農家も、今後のミカン栽培対しての不安(ミカン価格の低迷)が取り除かれる

最大の困ったモノの循環で再び経済をつくる

農工商連携で経済や環境の循環も生まれる

(例) 10tのミカンをジュースに絞ると6tの絞りかすが

農



捨ててれば
産業廃棄物

ジュースも出来るが廃棄物も出来る

ここにも経済が発生

工



地域経済循環

商

農家が購入

きてらで販売

環境循環

経済と環境の両立

柑橘の香り販売に向け再投資

搾りかすに含まれる柑橘の皮から油成分の抽出し販売への挑戦



より付加価値の高い香り成分

心の地域資源(小学校)の活用

地域
資源

誰も取り壊してほしいと願う人はいない。いつまでもこの場所にあってほしいと願う。
時代は文化的建築物の破壊よりリノベーションによる新しい価値を求めだしている

この小学校の卒業生やここに暮らす住民の心のふるさとを守れる可能性がある
歴史ある学校だけに、今なら多くの卒業生や住民に応援を頂ける可能性がある

明治9年開校



事業化への最終判断は住民の応援

- ◇説明会事前に、上秋津全世帯に計画書を配布
- ◇パワーポイントを利用し、全地区(11集落)で同じ内容で説明



- ◇出資は住民誰もが出来る金額(1株=2万円)から
- ◇一人最高25株=50万円までの**制限**付き(個人に大きな権限を与えない)
- ◇地域内の方は**議決権有り**の株主、**地域外の方は議決権無し**の株主

合意形成(応援)を得るためには議決権のある株数制限は有効であった

地域外からの出資を受けるのにも、議決権制限株式の対応で地域に安心を与えた

法人設立 資本金 ¥33,300,000 298名(平成19年6月)

増資 資本金 ¥41,800,000 489名(平成20年9月)

※現在は農業法人育成ファンド投資を受け入れ 資本金が5180万円

プロのシェフはいないがプロの主婦がつくる家庭料理

気軽に何度でも来て料理や農業・農村を味わってほしい

地域女性の働く場の提供にもつながる



ひとつ、ひとつが手づくり。
スローフードバイキング
農家レストラン **ムサビ畑**

地産地食への挑戦

経営の柱は
農家レストラン



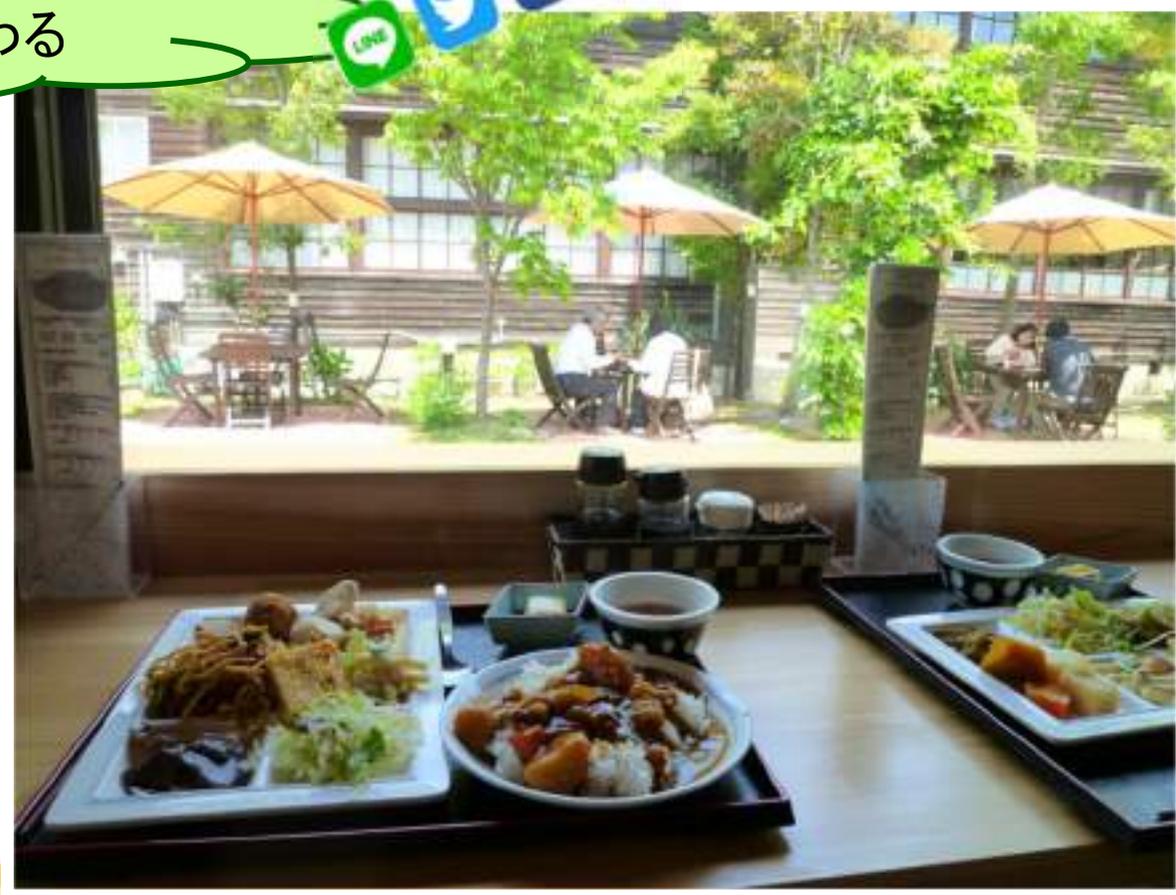
景観を活かすレストランを目指す

直売所移転時に学んだ(手に入れた) **景観を活かす**ことに注力した整備



料理を味わう前に目で景観を味わう
料理を味わいながら時代を感じる
なぜか紹介したくなるようなレストラン(SNS、BLOG)

景観が経済にかわる



農泊でさらに親しみやすい農村へ

秋津野の農業は生産・販売が主であるため、農泊施設の設置で農家女性負担軽減
秋津野の農家民泊は宿泊施設をメインに農家民泊で宿泊キャパの応援

- ◇ 農村での交流をさらに深化させ経済に結び付けたい
- ◇ 将来は農村ワーキングホリデーでの宿泊施設につなげたい
- ◇ 帰郷利用で故郷の暖かさを感じてもらう（Iターン・Uターン者の増加を目指す）

※宿泊数実績 2019年度＝約4,000人 2020年はコロナ禍で宿泊者数は激減。



2019年春、新・宿泊棟完成



インバウンドにも普通に対応

現在は熊野古道への旅が目的であるが、将来は農村が目的の旅になる。
（欧米・豪州の個人の旅行者が中心）



2020年はインバウンドは皆無。



14軒の農家民泊



※ガルテンの宿泊施設は災害時の一時避難施設として登録をし社会性も担保している

スイーツ&カフェ 体験工房バレンシア畑

人が来ているのにモッタイナイ！秋津野ガルテンでの滞在時間の延長で経済に



定休日(火曜日、但し祝日は除く)

スイーツづくり体験

ジャム、マーマレード、ジュースしぼり
クッキー、ロールケーキ、スーカップシ
フォン、シュークリーム、フルーツタルト

ピザ、パン焼き体験

里染・手芸体験

みかん染、梅の枝染、ビワの葉染、玉
ねぎの皮染、栗染

ドライみかん体験

ハーバリウムづくり、リースづくり、
リース時計づくり

農村RMO 組織間連携



上秋津の樹園地でも廃園、放任園が

条件が良い園地だけでも、なんとか後継者や農業法人に残して行きたい

急傾斜の栽培条件が厳しい園地から放任園・廃園が増えている
農業者の高齢化や後継者不足が深刻になってきた
農業生産額も減少しつつある

廃園

部分廃園

廃園

- 借り手のいない生産性が乏しい園地は放任しかしかないのか？
- 農業生産額が落ちると地域力も衰退する
- 農村空間の景観も悪くなる

農業の課題解決のための組織を立ち上げ

農業を事業とする農業法人『株式会社秋津野ゆい』を組織(令和元年11月)

- ◇法人組織(株式会社)での農業経営への挑戦と優良園地の保護や農業支援
- ◇農産物(特にウメ)の生産・加工・販売、農産物の貯蔵・運搬、農作業の受託、人材
- ◇派遣業や農業機械のレンタル、スマート農業に関する調査研究と実践。

まだまだ準備段階



スマート農業に耐えられる園地改造された梅畑



秋津川園地

作業の省力化

自走草刈り機、梅の枝などの樹木粉碎機などの導入や地域へのレンタル。スマート農機導入研究。

優良農地の借受け、請負

農家が農業を継続していても、収穫などで人手が足りない場合、作業を請け負う

農業機械レンタル事業で農家の負担を軽く

高価な農業機械を地域内でレンタルするため、
秋津野RMO参加組織と上秋津中山間委員会が連携。

連携

- 農業法人(株)秋津野ゆいは、所有の農機の提供と整備
- 上秋津中山間委員会(上秋津集落協定)が中山間地域等直接支払交付金制度の生産性向上加算交付金を活用
- 農業法人(株)秋津野がレンタル事業の窓口受付業務



泊食分離型農村ワーキングホリデー（援農）制度

上秋津地区では農村ワーキングホリデー（援農）は13年前から続けられていたが、ワーキングホリデー参加者の負担と農家側の負担が問題で利用者は伸びなかった

秋津野RMO参加組織と上秋津中山間委員会が連携。

- 上秋津中山間委員会（上秋津集落協定）が中山間地域等直接支払交付金制度の集落機能強化加算交付金を活用。
- 農業法人（株）秋津野が参加者と農家のマッチング作業と食事、宿泊場所の提供

※利用者 令和2年 60人 令和3年 159人 令和4年 149人



農村RMO事業での取組

秋津野地域づくり協議会

転機？

秋津野地域づくり協議会を発足

農村RMOとは「農村型地域運営組織」のことで、
農用地保全の活動が加わっていることが一般RMOとの違い

複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織のこと。



令和4年度和歌山県攻めの農業実践支援事業(令和4度RMO予算は不使用)
農業法人秋津野ゆいを中心にスマート農機でも使用可能なように廃園を復活
廃園を復活させ苗木を植えてもその後5年以上、栽培管理費の大きな支出が続く



令和5年度農村RMO事業

梅畑に再生した園地の栽培管理

上秋津下畑4110(33a)、上秋津下佐向261-4(49a)



園地再生後、何年にもわたる栽培管理や投下費用の負担も非常に大きい

上秋津下畑4110



収益が見込まれるまであと3年はかかる



秋津野ゆいが5年前に自力復活させた秋津川園地

耕作放棄地を里山へ再生 (上秋津宇井田1152-2、1152-4) 36a

放任園の急傾斜の段々畑を再生しても畑としての将来性は全く無い
そのまま放置すると景観が悪いばかりかイノシシなどの住処になる

秋津野の実情に合わせた再生

都市農村交流が盛んな上秋津地域では、モミジや桜、他等の景観作物を植えることで、ウォークイベントや低山登山などの催しで農村に人を呼び込める可能性が高まる



再び、経済的作物を植えても管理ができない



里山ラジオ&ウォーク

時代のニーズに合わせた加工施設へ

農村女性の農産物加工などの活動が行われていたが、経済には結びついていなかった。保健所の許可がとれた施設を設けた。

テストキッチン

『きてら工房』

平成15年開設

- 加工施設としての許可を取得し、加工品開発へのハードルを下げる。
- 高価な加工機器の協同利用もできる
- 商品が出来れば直売所の店舗で販売が試せる

令和4年度RMOで大型の食品乾燥機を、令和5年度で皮切器の導入と加工場の環境改善をしたことで、地元柑橘のピール生産が伸びはじめている

既存の施設に新たな機器をRMOで導入することで、働き方改革と経済性を高める支援となりました。



これで早く
おうちに帰
れる～



ハンドクリームの販売用説明動画作成



松坂屋静岡店や紀伊國屋書店等計
20店舗
で催事販売を展開。売上573,000円
(税抜)



より付加価値の高い香り成分

R5年度 秋津地区の散策マップを作成 ⇒集客
R6年度 お地蔵さんマップを作成



- ・11月18日 モニターツアー実施37名参加
- ・2月1日～18日スタンプラリー実施155名参加

ワーホリ学生等をツアーへ誘導

ルーラルウェザーネットワークの維持

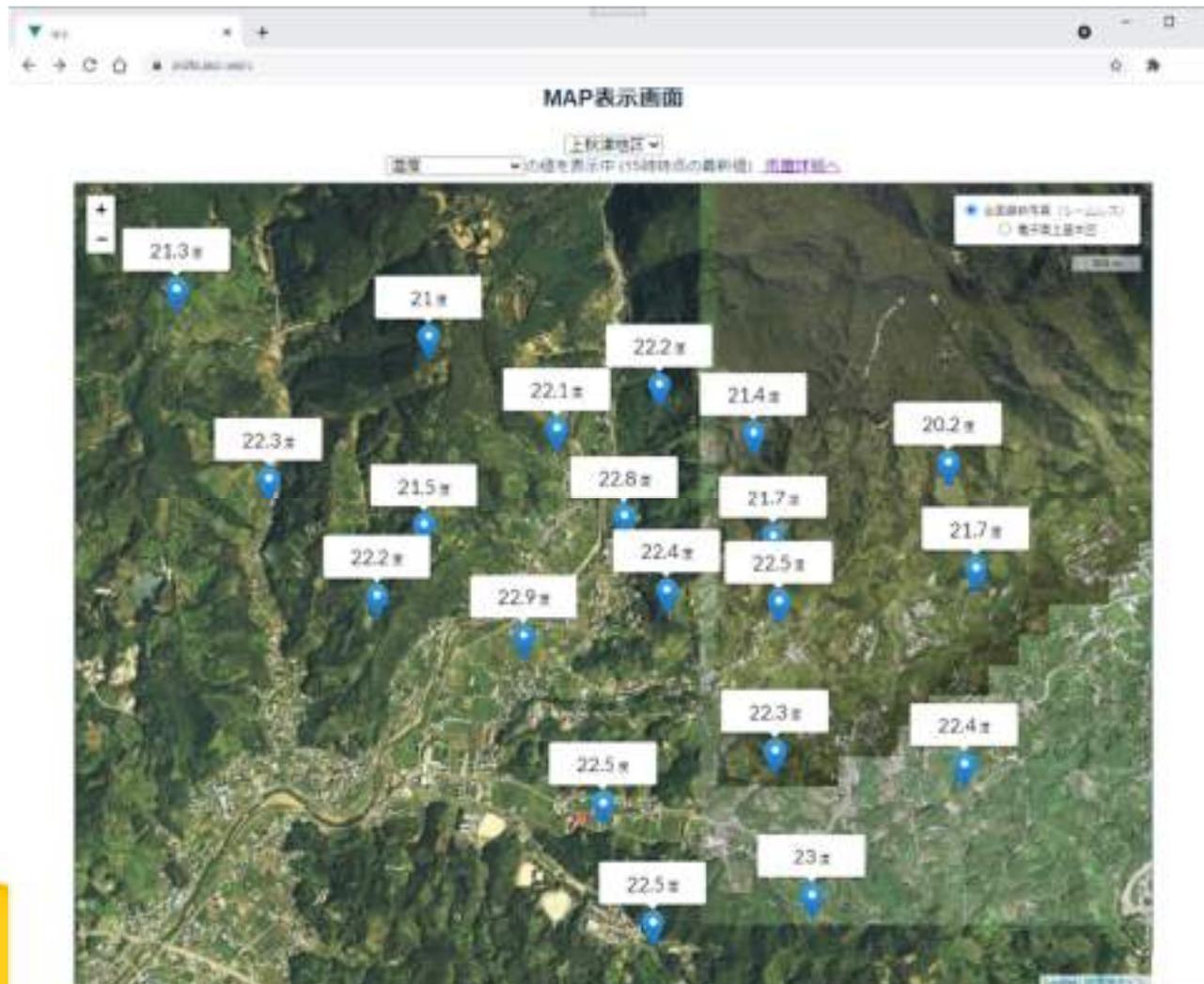
気象データを活用する農業へ

令和5年度 農村RMO事業での管理維持・データ分析



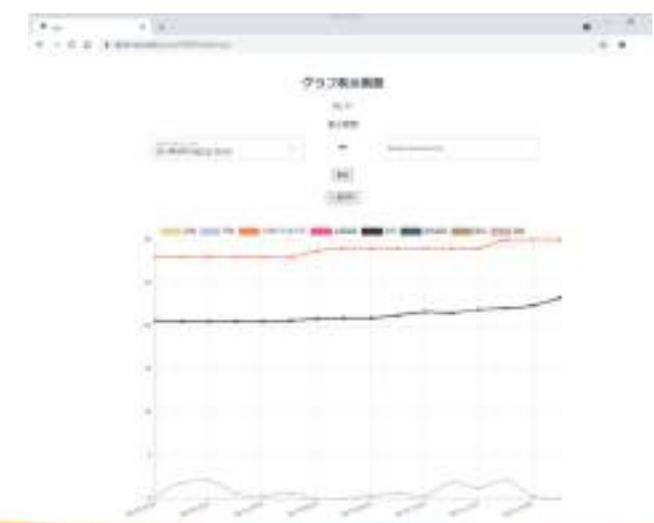
ルーラルウェザーネットワークの実証から実用へ

※令和2～3年 国のスマート農業実証プロジェクトに参加。ルーラルウェザーネットワークで適時防除や管理で作物の高品質化、防除薬剤削減を目指す。



2021年(月別集計)

月	日	気温	湿度	日照	降水	風速	風向	雲量	露点	日照時数	降水量	最大風速	最大風向	最大雲量
1	1	10.0	75	10	0.0	1.0	10	10	10.0	10	0.0	1.0	10	10
1	2	10.5	76	11	0.0	1.1	11	11	10.5	11	0.0	1.1	11	11
1	3	11.0	77	12	0.0	1.2	12	12	11.0	12	0.0	1.2	12	12
1	4	11.5	78	13	0.0	1.3	13	13	11.5	13	0.0	1.3	13	13
1	5	12.0	79	14	0.0	1.4	14	14	12.0	14	0.0	1.4	14	14
1	6	12.5	80	15	0.0	1.5	15	15	12.5	15	0.0	1.5	15	15
1	7	13.0	81	16	0.0	1.6	16	16	13.0	16	0.0	1.6	16	16
1	8	13.5	82	17	0.0	1.7	17	17	13.5	17	0.0	1.7	17	17
1	9	14.0	83	18	0.0	1.8	18	18	14.0	18	0.0	1.8	18	18
1	10	14.5	84	19	0.0	1.9	19	19	14.5	19	0.0	1.9	19	19
1	11	15.0	85	20	0.0	2.0	20	20	15.0	20	0.0	2.0	20	20
1	12	15.5	86	21	0.0	2.1	21	21	15.5	21	0.0	2.1	21	21
1	13	16.0	87	22	0.0	2.2	22	22	16.0	22	0.0	2.2	22	22
1	14	16.5	88	23	0.0	2.3	23	23	16.5	23	0.0	2.3	23	23
1	15	17.0	89	24	0.0	2.4	24	24	17.0	24	0.0	2.4	24	24
1	16	17.5	90	25	0.0	2.5	25	25	17.5	25	0.0	2.5	25	25
1	17	18.0	91	26	0.0	2.6	26	26	18.0	26	0.0	2.6	26	26
1	18	18.5	92	27	0.0	2.7	27	27	18.5	27	0.0	2.7	27	27
1	19	19.0	93	28	0.0	2.8	28	28	19.0	28	0.0	2.8	28	28
1	20	19.5	94	29	0.0	2.9	29	29	19.5	29	0.0	2.9	29	29
1	21	20.0	95	30	0.0	3.0	30	30	20.0	30	0.0	3.0	30	30
1	22	20.5	96	31	0.0	3.1	31	31	20.5	31	0.0	3.1	31	31
1	23	21.0	97	32	0.0	3.2	32	32	21.0	32	0.0	3.2	32	32
1	24	21.5	98	33	0.0	3.3	33	33	21.5	33	0.0	3.3	33	33
1	25	22.0	99	34	0.0	3.4	34	34	22.0	34	0.0	3.4	34	34
1	26	22.5	100	35	0.0	3.5	35	35	22.5	35	0.0	3.5	35	35
1	27	23.0	101	36	0.0	3.6	36	36	23.0	36	0.0	3.6	36	36
1	28	23.5	102	37	0.0	3.7	37	37	23.5	37	0.0	3.7	37	37
1	29	24.0	103	38	0.0	3.8	38	38	24.0	38	0.0	3.8	38	38
1	30	24.5	104	39	0.0	3.9	39	39	24.5	39	0.0	3.9	39	39
1	31	25.0	105	40	0.0	4.0	40	40	25.0	40	0.0	4.0	40	40
2	1	25.5	106	41	0.0	4.1	41	41	25.5	41	0.0	4.1	41	41
2	2	26.0	107	42	0.0	4.2	42	42	26.0	42	0.0	4.2	42	42
2	3	26.5	108	43	0.0	4.3	43	43	26.5	43	0.0	4.3	43	43
2	4	27.0	109	44	0.0	4.4	44	44	27.0	44	0.0	4.4	44	44
2	5	27.5	110	45	0.0	4.5	45	45	27.5	45	0.0	4.5	45	45
2	6	28.0	111	46	0.0	4.6	46	46	28.0	46	0.0	4.6	46	46
2	7	28.5	112	47	0.0	4.7	47	47	28.5	47	0.0	4.7	47	47
2	8	29.0	113	48	0.0	4.8	48	48	29.0	48	0.0	4.8	48	48
2	9	29.5	114	49	0.0	4.9	49	49	29.5	49	0.0	4.9	49	49
2	10	30.0	115	50	0.0	5.0	50	50	30.0	50	0.0	5.0	50	50
2	11	30.5	116	51	0.0	5.1	51	51	30.5	51	0.0	5.1	51	51
2	12	31.0	117	52	0.0	5.2	52	52	31.0	52	0.0	5.2	52	52
2	13	31.5	118	53	0.0	5.3	53	53	31.5	53	0.0	5.3	53	53
2	14	32.0	119	54	0.0	5.4	54	54	32.0	54	0.0	5.4	54	54
2	15	32.5	120	55	0.0	5.5	55	55	32.5	55	0.0	5.5	55	55
2	16	33.0	121	56	0.0	5.6	56	56	33.0	56	0.0	5.6	56	56
2	17	33.5	122	57	0.0	5.7	57	57	33.5	57	0.0	5.7	57	57
2	18	34.0	123	58	0.0	5.8	58	58	34.0	58	0.0	5.8	58	58
2	19	34.5	124	59	0.0	5.9	59	59	34.5	59	0.0	5.9	59	59
2	20	35.0	125	60	0.0	6.0	60	60	35.0	60	0.0	6.0	60	60
2	21	35.5	126	61	0.0	6.1	61	61	35.5	61	0.0	6.1	61	61
2	22	36.0	127	62	0.0	6.2	62	62	36.0	62	0.0	6.2	62	62
2	23	36.5	128	63	0.0	6.3	63	63	36.5	63	0.0	6.3	63	63
2	24	37.0	129	64	0.0	6.4	64	64	37.0	64	0.0	6.4	64	64
2	25	37.5	130	65	0.0	6.5	65	65	37.5	65	0.0	6.5	65	65
2	26	38.0	131	66	0.0	6.6	66	66	38.0	66	0.0	6.6	66	66
2	27	38.5	132	67	0.0	6.7	67	67	38.5	67	0.0	6.7	67	67
2	28	39.0	133	68	0.0	6.8	68	68	39.0	68	0.0	6.8	68	68
2	29	39.5	134	69	0.0	6.9	69	69	39.5	69	0.0	6.9	69	69
2	30	40.0	135	70	0.0	7.0	70	70	40.0	70	0.0	7.0	70	70
2	31	40.5	136	71	0.0	7.1	71	71	40.5	71	0.0	7.1	71	71
2	32	41.0	137	72	0.0	7.2	72	72	41.0	72	0.0	7.2	72	72
2	33	41.5	138	73	0.0	7.3	73	73	41.5	73	0.0	7.3	73	73
2	34	42.0	139	74	0.0	7.4	74	74	42.0	74	0.0	7.4	74	74
2	35	42.5	140	75	0.0	7.5	75	75	42.5	75	0.0	7.5	75	75
2	36	43.0	141	76	0.0	7.6	76	76	43.0	76	0.0	7.6	76	76
2	37	43.5	142	77	0.0	7.7	77	77	43.5	77	0.0	7.7	77	77
2	38	44.0	143	78	0.0	7.8	78	78	44.0	78	0.0	7.8	78	78
2	39	44.5	144	79	0.0	7.9	79	79	44.5	79	0.0	7.9	79	79
2	40	45.0	145	80	0.0	8.0	80	80	45.0	80	0.0	8.0	80	80
2	41	45.5	146	81	0.0	8.1	81	81	45.5	81	0.0	8.1	81	81
2	42	46.0	147	82	0.0	8.2	82	82	46.0	82	0.0	8.2	82	82
2	43	46.5	148	83	0.0	8.3	83	83	46.5	83	0.0	8.3	83	83
2	44	47.0	149	84	0.0	8.4	84	84	47.0	84	0.0	8.4	84	84
2	45	47.5	150	85	0.0	8.5	85	85	47.5	85	0.0	8.5	85	85
2	46	48.0	151	86	0.0	8.6	86	86	48.0	86	0.0	8.6	86	86
2	47	48.5	152	87	0.0	8.7	87	87	48.5	87	0.0	8.7	87	87
2	48	49.0	153	88	0.0	8.8	88	88	49.0	88	0.0	8.8	88	88
2	49	49.5	154	89	0.0	8.9	89	89	49.5	89	0.0	8.9	89	89
2	50	50.0	155	90	0.0	9.0	90	90	50.0	90	0.0	9.0	90	90
2	51	50.5	156	91	0.0	9.1	91	91	50.5	91	0.0	9.1	91	91
2	52	51.0	157	92	0.0	9.2	92	92	51.0	92	0.0	9.2	92	92
2	53	51.5	158	93	0.0	9.3	93	93	51.5	93	0.0	9.3	93	93
2	54	52.0	159	94	0.0	9.4	94	94	52.0	94	0.0	9.4	94	94
2	55	52.5	160	95	0.0	9.5	95	95	52.5	95	0.0	9.5	95	95
2	56	53.0	161	96	0.0	9.6	96	96	53.0	96	0.0	9.6	96	96
2	57	53.5	162	97	0.0	9.7	97	97	53.5	97	0.0	9.7	97	97
2	58	54.0	163	98	0.0	9.8	98	98	54.0	98	0.0	9.8	98	98
2	59	54.5	164	99	0.0	9.9	99	99	54.5	99	0.0	9.9	99	99
2	60	55.0	165	100	0.0	10.0	100	100	55.0	100	0.0	10.0	100	100



希薄になりつつ高齢者のコミュニティー対策

地域づくりに高齢者のニーズを引き出すのが難しい時代になりつつある

- 秋津野の里でも老人クラブが解散し、高齢者同士のコミュニティーが希薄化
- 介護保険制度の対象者となる高齢者は、別々の介護老人福祉施設等にデイサービスに通う状態。
- 高齢でも働かなければならない現実もある。

いきいき健康増進(秋津野塾内のボランティア活動)25年間継続されている

- ✓ 平成9年から、地域で寝たきり老人を作りたくないという活動がスタート。
- ✓ 月に数回農村センターを拠点に健康増進を図りながらコミュニティーづくりも行っていた。
- ✓ 5年間は田辺市からも職員派遣があったが中止され、活動は、地元のボランティアやの福祉委員とで継続されているが予算的な援助はほとんどない。

令和5年度 農村RMO事業でサロンバスを2回運用をする

今ある組織を応援するのも農村RMOの役割



子育て世代の交流の場づくり⇒ 多世代間交流の場づくりへ

2024年度第1回
参加募集!

みななといっしょに楽しもう!

親子 DE サロン 開催のお知らせ



子育て世代のお母さん方の場づくりを通して、子どもからおとなまで、一人でも多くの人の顔が見える暮らしづくりを応援したいとの思いから、秋津野地域づくり協議会では農村RMO事業を利用して、子育て世代のお母さん方と小学生の子どもたちを対象に、交流会を開催致します。皆様お誘い合わせてご参加下さい。

2024年 6月29日(土) 午前11時30分から
場所: 秋津野ガルテン1F交流室

参加費: 大人300円、子ども200円(3歳以上小学校6年生まで)
募集人数: 80名程度 (予定数に達し次第受付終了)
申込締切: 2024年6月20日(木)まで

お申込み・お問い合わせは、秋津野地域づくり協議会
事務局まで(秋津野ガルテン内) TEL: 0739-35-1199

*秋津野地域づくり協議会は、秋津野町、(株)秋津野、(株)アスター、(株)秋津野野食、(一社)ふるさとあまのの連携の
*協賛で構成する協議会で、協賛各団体の農村RMO事業費を共同で負担しております。



さいごに

- 地域コミュニティが健全な形で保たれていなければ、住民の地域づくり活動への参加は難しい。
- 地域づくりの過程に人材育成のカリキュラムがある。
- 地域づくりが一過性で終わらないためにも、地域づくりとコミュニティビジネスの両輪で、地域活性化をすすめる必要性がある。

農村RMOが
地域の各組織間を
丸～るく繋いで行きたい。

今回の農村RMO事業中、全国のRMO先進地を学び、山積する地域課題を早期に解決するため、計画から実行・実現が素早く行えるRMO組織体を目指していきたい。

秋津野地域づくり協議会

和歌山県田辺市上秋津地区

ご清聴ありがとうございました